

2012-B					
拠出金・基金の名称:		経済協力開発機構化学品委員会工業ナノ材料作業部会(OECD/JM/WPMN)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 経済協力開発機構(OECD)					
【所管官庁担当局課・室名】: 経済産業省製造産業局化学物質管理課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 経済協力開発機構(OECD)において、ナノ粒子の安全性問題に関し、科学的なアプローチによる特性把握、有害性の評価等について検討中である。ナノ粒子の工業的利用を先進的に進める我が国が、イニシアティブをもって国際的にこの問題をリードしていくことが重要であり、所要の拠出をし、プロジェクトへの戦略的な対応を図るものである。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	19,705	176	-	1ユーロ = 112円	0
平成23年度	21,112	176	-	1ユーロ = 120円	0
平成22年度	23,575	176	-	1ユーロ = 134円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 OECDは、高い分析能力と政策提言能力、自由且つ率直な議論及び主要先進国の横断的な取り組みといった国際機関の強みを活かし、現在組織をあげて規制制度改革の調査・研究に取り組んでおり、我が国としても高く評価している。また、工業ナノ材料作業部会では、ナノ材料の安全性評価の手法の確立に向けた試験法の検討等の我が国の政策に盛り込むための基盤作りとして有益。					